

加古川市次世代見守りサービス・スマート防災実証実験(かがわICTまちづくり協議会)

■ 都市課題

- ①防犯：地域防犯・交通安全性の強化、超高齢化社会への対応
- ②防災：自然災害の激甚化対応(水害リスクへの備え)

■ 解決方策

- ①みまもりタグ検知アプリの開発、アシスト自転車の見守り活用
- ②(国)浸水把握技術開発との広域連携等、(市)浸水センサー設置

■ K P I

- ①刑法犯認知件数
(2020)2,025件→(2026)1,800件
- ②ダッシュボードで可視化したデータ数
(2020)35セット→(2026)45セット

■ 実証実験の概要・目的

- ①防犯：市民のスマホや自転車など身近なインフラを活用することで、コストを抑えた広域展開の実現に向けた次世代見守りサービス実証
- ②防災：国の浸水把握技術開発との連携や市内センサー設置による行政情報ダッシュボードへの情報一元化を通じ災害時における市民の避難支援と防災担当部署の負担軽減に向けた実証

■ 実証実験の内容

① 防犯

開発したアプリ・自転車を活用し、広域での検知状況や自転車の走行軌跡等を把握

みまもりタグ検知アプリ



多機能アシスト自転車





IoTユニット
(みまもりタグ検知等)

② 防災

浸水状況等の水害リスク情報を統合して効果的に市民や防災担当部署に提供

国の浸水把握技術開発



浸水センサー



ハザードマップ等



加古川市行政情報ダッシュボード



か-ぴろ-情報提供



■ 実証実験で得られた成果・知見

① 防犯

- ・みまもりタグ検知アプリは、市民のスマホを活用した感知器として行政界を越えたシームレスなタグ検知が可能。従来の固定式感知器と比べ、低廉かつ見守り範囲拡大の有効性を確認
- ・アシスト自転車によるタグ検知では、今回は利用時間が限定されたため、レンタサイクル事業など市民利用への拡大が課題

② 防災

- ・行政情報ダッシュボードへの防災情報の一元化は、特に、災害時に防災担当者が遠隔で現地の状況を把握できることから、現地確認のリスクや負担の軽減に貢献する点で効果的
- ・出水期に向けて、市内における今回開発システムの運用方策の検討や防災訓練等での活用が必要

■ 今後の予定

- ①・みまもりタグ検知アプリの実装化に向けた広域実証(参加自治体)の拡大、データ管理等含めた事業スキームの検討
- ・レンタサイクル事業化を見据えたアシスト自転車の実証による見守り範囲や時間帯の拡大効果、事業化可能性の検証
- ②・出水期に向けた市内での活用・運用や市民への普及啓発